

## 「成長するキリストの体」

エフェソの信徒への手紙 4：7-16  
ヨハネによる福音書 15：5

2023年9月24日  
野村 友美 師

### <キリストの体として働く教会>

先週は、この呉教会が所属している日本ナザレン教団の山陽・四国地区聖会が広島教会で行われました。コロナ禍とか台風とかいろいろあって、実に4年ぶりの聖会だったそうですね。

受付や礼拝堂で、「久しぶり！」と嬉しそうに挨拶しておられる声があちこちから聞こえてきました。私も久しぶりに会えた方が何人もいて、懐かしくて嬉しかったです。

大人同士だと、久しぶりでもそんなに大した変化はなくて、せいぜい「お互い、ちょっと貫禄が出たかな？」ぐらいですが、子どもたちはものすごく変わりますね。前に会った時はよちよち歩いていた小さな子が、いつの間にか背が伸びて、しっかりとして、たくさん話してくれたり、ちょっと人見知りになっていたり。

本当に、子どもたちの成長ぶりを見ると、月日の流れを実感させられます。

とは言え、成長するのは子どもだけとは限りません。大人だって、大人なりに成長するものです。何か新しいことを覚えた、とか初めてのことを体験した、とか誰か新しい人と出会った、というのも「成長」だと言っていいでしょう。

なにも新しいことはなかったって、髪が伸びたり

爪が伸びたり、体重が増えたり減ったり、一週間前の皆さんと今日の皆さんはまったく同じではないだろうと思います。

私たち人間は、人間に限らなくても、命を与えられて今この時を生きているものはみんな、いつでも変わり続けています。じっとして動かなくても、時間が経ったらだんだんとお腹が空いてきますよね？

どんなに悲しくても、腹が立っても、ずっとそのまま同じ調子で悲しかったり怒りっぱなしではいられないはずですよ。これは大事なことから絶対忘れない、と思っていたはずのことでも時間が経ったら「あれ、何だったっけ？」となりませんか？私は割とよくあります。

私たちの体も心も、ずっと同じようできて、どうしてもちょっとずつ変わっていくものです。

その変化が、私たちにとって良いと思える時もあるれば、良くない、嫌だな、と感じる時もあるでしょう。完成形に向かって変わり続ける成長だったら良いけれど、だんだん歪んだり壊れたりしていくのは辛いし、命の終わりに向かって変わっていく衰弱や老化は誰にとっても切ないものです。いずれにしても、生きている限り私たちは変わり続けます。変わりたいと思っても、思わなくても、否応なく変わらざるを得ない。

それが、命を持って生きているということではないでしょうか。

一方で、旧約聖書のイザヤ書は私たちにこう語りかけます。

「草は枯れ、花はしぼむが、わたしたちの神の  
言葉はとこしえに立つ。」

(イザヤ40:8)

変わり続ける私たちが、変わり続けるこの世界  
で、変わらずに語りかけられる神様の言葉を受け  
取って、また手渡していく。そのために働いてい  
るのが、この教会という場所です。

すべてのものが変わり続けずにはいられないこ  
の世界で、ただ一つ変わらないもの。

私たちすべての人に語りかけ、呼びかけておられ  
る神様の愛の言葉を、伝えられて伝えていくのが  
教会の役割です。ある時は言葉で、ある時は行動  
で、生き方で、存在そのもので、ありとあらゆる  
伝え方で、変わらない神様の愛の言葉を伝えるた  
めに、教会は変わり続けるこの世界の真ただ中  
に建てられています。

だから、変わらないこの役目を担って働くために、  
生き生きと変わり続けていなさい、成長しなさい、  
と今日の聖書の箇所は私たちに呼びかけます。

変わり続ける世界で、変わらない神様の愛を伝え  
るために今も生きて働かれるイエス・キリストの  
体として。

イエス様を頭にして、お互いに補い合って、結び  
合わせられて働く一つの体として、一緒に成長し  
ていきなさい。そう言って、このエフェソの信徒  
への手紙を書いた使徒パウロは、この手紙を読む  
すべての教会に向かって勧めているんです。

<キリストの体の部分>

教会という場所に招かれた私たちは、すべての  
ものの内におられる神様によって、イエス・キリ  
ストを通して、聖霊の力で一つに結び合わされて  
いる。それと同時に、私たちのそれぞれ一人一人  
に「キリストの賜物のはかりに従って恵みが与え  
られている」とパウロは語ります。

確かに、今ここにいる私たちもそれぞれに違う一  
人一人です。それぞれの性格、それぞれの力、そ  
れぞれの環境、それぞれの経験、それぞれの強さ  
と弱さ、それぞれの好みや考え方を持って  
こうして同じ場所で神様を礼拝しています。

一つに結び合わせられている私たちの、それぞ  
れの違い。それはみんな「賜物」、つまりプレゼント  
として、イエス様が一人一人に合わせて、量って、  
お与えになった恵みなんだとパウロは今日の箇  
所の初めに言っているんです。

神様ご自身でもある神様のひとり子が、私たち人  
間と同じところまで降ってこられて、人間の悲し  
みも喜びも、弱さも苦しみも一緒に味わってくだ  
さった。その上で、すべての人を神様からの愛と  
救いで満たすために十字架で死なれて、復活され  
て、天の神様の領域に昇られた。こうして、地上  
でも天でも生きて働かれるイエス様が、私たち一  
人一人の違いを「恵み」として活かしてくださる  
んだとパウロは宣言しています。

この「恵み」によって、ある人を使徒に、ある人  
を預言者に、ある人を福音宣教者に、ある人を牧  
者に、ある人を教師にされる。ここでパウロが挙

げている役割はどれも、誰かに何かを伝える役割です。

イエス様の出来事を伝える、使徒。

神様の言葉を伝える、預言者。

神様からの救いを伝える、福音宣教師。

信仰者のあり方を伝える、牧者。

神様についての知識を伝える、教師。

それぞれの入り口から、それぞれの伝え方で、神様の愛を伝えるために一人一人の違いが「恵み」として活かされる場所。

それが、イエス・キリストの体として生きて働く教会だとパウロは言うんです。

話すのが得意だったり、行動力があったり、知識や能力や環境が整っている一部分の人たちだけが、教会として働くんじゃないです。

神様から教会に招かれて、その招きに応じて呼び集められた人はみんな、それぞれの役目を任されているイエス様の体の大事なパーツ、必要不可欠な一部分なんです。

「こうして、聖なる者たちは奉仕の業に適した者とされ、キリストの体を造り上げてゆき、ついには、わたしたちは皆、神の子に対する信仰と知識において一つのものとなり、成熟した人間になり、キリストの満ちあふれる豊かさになるまで成長するのです。」

だから、風のように変わりやすい人間の思いや欲望に振り回されないように、イエス・キリスト

の体として、一緒にイエス様の在り方を目指し続けなさい。そうパウロは教会に呼びかけます。

でも私たち一人一人は、弱さも限界もある不完全な存在です。どんなに強くて頼もしく見える人も、素晴らしい才能を持っている人も、神様の目から見ればみんな完全にはほど遠い、未熟で危なっかしい者でしょう。それでも、いえ、だからこそ。誰も完成形じゃない、でこぼこの私たちだからこそ、イエス様に対する信仰と知識で一つに結ばれて、補い合って、イエス様の姿を目指して成長し続けられるんだ、とパウロは励ましています。

一人ずつは弱くて未熟で不完全で、でもだからこそ私たちは、この変わり続ける世界で生きて働くイエス様の体として、どこまででも成長していけます。

神様の愛に根を下ろして、イエス様をリーダーにして、聖霊によって結び合わせられて、動かされて、しっかりと組み合わせられて。

変わらない神様の愛を伝え続けるイエス様の体として、私たちはそれぞれの違いも弱さも限界も「恵み」として受け取って、一緒にイエス様を目指して変わり続けていけるんです。

#### <私たちは成長するキリストの体>

そう、ただ単に同じ場所において、それぞれの価値観で話し合っただけだとしたら、私たちは何者でもない継ぎはぎの体にしかなれないでしょう。

ですが教会は、イエス様が頭でいてくださる体で

す。誰よりも何よりも、まずイエス様に従って、考えて語って動く体。そのために、それぞれの部分がお互いに補い合って、それぞれの役目を担っている共同体が、イエス・キリストの体、教会です。

新約聖書のヨハネによる福音書は、かつてイエス様が弟子たちに言われたこんな言葉を伝えています。

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

(ヨハネ15:5)

どんなに立派で、何十年もかけて伸びた太い枝でも、木の幹から切り離されてしまえば、地面に落ちてやがては枯れてしまいます。

木につながって、いつも新しい水や栄養を送られて、生き生きと変わり続けているからこそ、豊かな実を結べるぶどうの枝のように。あなたたちもわたしにしっかり繋がりに続けていなさい、とイエス様は弟子たちに語られました。

イエス様からいつも新しい力と恵みを受け取って、イエス様によって生き生きと変わり続けているなら、その人は豊かな実を結ぶ。

この約束は、すべてのイエス様の弟子たちに、イエス様を信じて従うすべての人に、すべての教会に与えられている約束です。

私たちはイエス様に繋がって、イエス様に従って

働く一本のぶどうの木、一つの体です。

お互いに補い合って、しっかりと組み合わせられ、結び合わされて、それぞれの部分がそれぞれの役割を担って一緒に成長し続ける、イエス様の体です。

変わり続ける世界の真ただ中で、変わらない神様の愛を伝えるために、神様の愛に根を下ろして、生き生きと変わり続ける教会です。

さあ、今日も一緒にイエス様の姿を目指して、私たちはそれぞれの日常へと歩き出して行きましょう。

今こうして一緒に招かれている一人一人を、そしてこれから神様が招かれる一人一人を、私たちの頭であるイエス様が愛によって結び合わせ、一つの体として成長させてくださいますように。

すべての人が神様からの愛と救いを受け取って、神の国を生きる人とされる、その時まで。

神の国の平和がこの世界に完成されるその日まで、一緒に生き生きと、どこまでも育ち続けていけますように。

お祈りいたしましょう。